

環境活動のネットワークが果たす役割は何か？

2012年11月、きたネットは設立10周年を迎えます。

この期間、北海道の環境活動の中間支援組織・ネットワークとして「きたネット」が果たしてきた役割を検証するとともに、

今後、北海道の環境保全活動を推進するために、

環境活動の各分野で

市民がネットワークをどう活用していくのかを考えます。



きたネットは2012年6月1日から、認定NPO法人になりました。

きたネット設立10周年記念

北海道環境活動交流フォーラム

2012.11.10（土） 札幌市産業振興センター（地下鉄東西線 東札幌駅 徒歩7分）

[Program1] 10:00～ 開会式 ごあいさつ～きたネットのこの10年

パネルディスカッション 10:40～12:20



萩原 喜之氏 高木 晴光氏 東田 秀美氏 辻 昌秀氏

「環境NPOの課題と新しい動き～ネットワークは機能しているか」

この10年、ネットワークは環境活動の課題解決や活性化にどんな役割を果たしたか。市民はネットワークの機能を活用できたか。きたネット会員をはじめとする環境団体へのヒアリングをもとに、北海道の環境活動の明日を考えます。

【司会・進行】 草野 竹史（きたネット理事・環境NGO ezorock代表理事）・宮本 尚（きたネット常務理事）

【パネリスト】 萩原 喜之氏（NPO法人地域の未来・志援センター理事長）・高木 晴光氏（NPO法人ねおす理事長）・東田 秀美氏（NPO法人旧小熊邸倶楽部理事長）

辻 昌秀氏（NPO法人ウヨロ環境トラスト理事）・小野 弘人（一般財団法人セブン-イレブン記念財団）・秋山 孝二（きたネット理事長）

[Program2] ネットワークで何ができるか～分科会

13:20～15:15

分科会A by きたネット

「北海道の森づくりに市民がどうかかわるか？」

森づくりを担う人材、団体を育てるために、私たちは今何をすべきか。

【冒頭発言】 西川 静二（きたネット理事・北海道林業技士会）

【コーディネーター】 草薙 健 氏（NPO法人苫東環境コモンズ）

【出席者】 萩原 裕 氏（北海道森林管理局 保全調整課）

大堀 尚己 氏（北海道水産林務部 森林活用課）

平工 哲生 氏（コープ未来の森づくり基金）

きたネットの森林保全団体のみなさん 他

●パネルディスカッション・分科会参加費（全日程参加可）

参加費 きたネット会員 1000円／一般 1300円（事前申込み要）

11/5までにきたネット事務局にお申し込みください。

※ラブアース・クリーンアップin北海道交流会のみの参加は無料です。

分科会B by 環境中間支援会議・北海道（E☆navi会議）

「未来を考えるということ～E☆navi版北海道環境白書とともに」

2050年、どんな北海道になっていたらいいと思いますか？未来を考える楽しさを一緒に味わってみませんか？

お話「未来を考えるということ」＋フューチャーセッション

【講師とファシリテーター】 渡辺 保史 氏（東海大学国際文化学部デザイン文化学科 客員教授）

環境中間支援会議・北海道×北海道大学大学院環境科学院

15:30～17:30

分科会C by きたネット

「北海道のエネルギー円卓会議（テスト版）」

市民がつくった「北海道の電気 再生可能エネルギー 100%へのロードマップ」は実現できるのか。明日のエネルギーを議論する場をつくろう。

【座長】 秋山 孝二（きたネット理事長）

事例発表「北海道の電気 再生可能エネルギー 100%へのロードマップ」 岩井 尚人 氏（北海道エネルギーチェンジ100プロジェクト ロードマップリーダー）

【出席者】 萩原 喜之 氏（中部エネルギー市民会議 呼びかけ人）

竹内 聖 氏（北海道再生可能エネルギー振興機構）

清水 文雄 氏（札幌市環境局環境都市推進部エコエネルギー推進課）

有坂 美紀 氏（環境省北海道環境パートナーシップオフィス）

産官学民さまざまな立場のみなさん



ラブアース・クリーンアップ in 北海道 交流会

15:30～17:30

「ごみ拾い」でつながるラブアースのネットワーク！

ラブアースの活動とコラボレーションした2つの企業活動を紹介します。

活動発表1 「北海道日本ハムファイターズの取組み」

（株）北海道日本ハムファイターズ 三好 健二 氏

活動発表2 「ほっかいもっかい杯スポーツGOMI拾い」

北海紙管（株） 小西 和孝 氏



ラブアースパネル展 「ファイターズ×ラブアース」少年野球チーム活動報告

●17:40～18:10 閉会式（分科会報告）

お問合せ・お申込み

認定NPO法人北海道市民環境ネットワーク

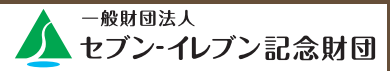
Tel.011-531-0482 Fax.011-531-0483 「きたネットWeb」http://www.kitanet.org

主催／認定NPO法人北海道市民環境ネットワーク

一般財団法人セブン-イレブン記念財団

共催／環境中間支援会議・北海道（環境省北海道環境パートナーシップオフィス 公益財団法人北海道環境財団 札幌市環境プラザ（指定管理者：財団法人札幌市青少年女性活動協会） 認定NPO法人北海道市民環境ネットワーク）

後援／環境省北海道地方環境事務所 北海道森林管理局 北海道 札幌市





きたネット設立10周年記念 北海道環境活動交流フォーラム2012 環境活動のネットワークが果たす役割は何か？ 11.10 ± 10:00～18:10

http://kitanetv.blogspot.jp/
きたネットでは行事などの動画をインターネットで発信しています。



【プログラム】 開会式 10:00～ / デイスカッション 10:40～12:20 / 休憩 / 分科会A・B 13:20～15:15 / 分科会C・ラジアース交流会 15:30～17:30 / 閉会式(分科会報告) 17:40～18:10 / 懇親会 18:40～(会場未定)

《プロフィール》

萩原 喜之氏 Yoshiyuki Hagiwara
NPO法人地域の未来・志援センター理事長
中部エネルギー市民会議呼びかけ人

1953年静岡県生まれ。1980年「中部リサイクル運動市民の会」設立。「誰もか参加できるシステムと場づくり」を活動の基本に、資源のリサイクルシステムやごみ減量プログラムの推進、リサイクル購入の推進など、「地域循環型市民社会」をめざして活動を行っている。最近は市民・企業・行政との協働事業やネットワークづくりを積極的に展開している。2012年「中部エネルギー市民会議」発足にあたり呼びかけ人・事務局として中心的役割を担う。

西川 静二氏 Seiji Nishikawa
きたネット理事・北海道林業技士会会長

1937年下川町生まれ。1955年～1992年北海道国有林、2002年まで日本森林技術協会(北海道事務所)勤務。SGEC(緑の循環会議)審査機関の日本森林技術協会審査委員、林業技士(林業経営・森林環境・森林総合管理)。

草苅 健氏 Takeshi Kusakeri
NPO法人苫東環境コモンズ事務局

1951年山形市生まれ。北海道大学フonderフオーザル部で冬の針葉樹林を縫うフオーに魅せられ農学部林学科へ。1976年(株)店東に入社、インダストリアルパークの実現に従事。1998年札幌の財団へ。苫東の雑木林で保育作業を開始、フットパスを開設。北の森林と健康ネットワーク副理事長。

渡辺 保史氏 Yasushi Watanabe
東海大学国際文化学部デザイン文化学科
客員教授

1965年函館市生まれ。活動分野は情報デザイン、フーケッ、科学技術ミニフーケッ。2008年より北海道大学CoSTEPや地球環境科学研究所で実践教育や社会連携のプロジェクトに携わり、2012年4月から現職。東日本大震災以降、地域の多様な人々の対話により未来を可視化する「2050年委員会」を掛け、著書に「情報デザイン入門 インターネット時代の表現術(平凡社新書)」など。

We love, We Save... きたネットとは

地球の森林の1/700が北海道にあります。多様な野生生物や植物がこの恵が自然の中で育んでいます。「きたネット」は、この北海道の環境を守り、次の世代に引きついでいくために活動する、市民団体5団体(2012.9現在)と、活動に賛同する個人や企業が所属する、環境活動のネットワークです。

■きたネットは、一般財団法人セブン・イレブン記念財団から助成を受け、市民の環境活動を支援する「市民環境活動支援協定」を結び、北海道の自然環境を子どもたちの未来へ引き継ぐために活動を行っています。

【Program1】10:00～ 開会式 ごあいさつ～きたネットのこの10年

パネルディスカッション 10:40～12:20 セミナールムA

「環境NPOの課題と新しい動き～ネットワークは機能しているか」

きたネットの10年の活動を振り返り、環境団体の課題解決に果たすネットワークの役割を検証するとともに、団体や個人がネットワークの機能を、積極的に活用できたかを問い、北海道の環境活動団体の現状と課題、未来への展望を考えます。

【司会・進行】草野 竹史(きたネット理事・環境NGO ezorock代表)・宮本 尚(きたネット常務理事)
【パネリスト】萩原 喜之氏(NPO法人地域の未来・志援センター理事長)・高木 晴光氏(NPO法人ぬおす理事長)・東田 秀美氏(NPO法人BIA熊部長兼理事長)
辻 昌秀氏(NPO法人ウロ環境トラス理事)・小野 弘人(一般財団法人セブン・イレブン記念財団)・秋山 孝二(きたネット理事長)

【Program2】 ネットワークで何ができるか～分科会

13:20～15:15

分科会A セミナールムA
by きたネット

「北海道の森づくり
市民がどうかかわるか？」

市民団体はなぜ森づくりに取り組むのか。抱えている問題は何か。活動の継続、発展の見通しはあるか。未来の森づくりを担う人材、団体を育てていくために市民や行政機関がどう協働していくかをディスカッションします。

【冒頭発言】
西川 静二(きたネット理事・北海道林業技士会会長)

【コーディネーター】
草苅 健氏(NPO法人苫東環境コモンズ事務局)

【出席者】
萩原 裕氏(北海道森林管理局 保全調整課 課長)

大堀 尚己氏(北海道水産林務部 森林活用課 主幹)

平工 哲生氏(コープ未来の森づくり基金 事務局)

きたネットの森林保全団体のみなさん 他

分科会B セミナールムB
by 環境中間支援会議・北海道
(E☆navi会議)

「未来を考えるということ
～E☆navi版
北海道環境白書とともに」

過去は変えられないけれど、未来は私たちの手で創ることができる～E☆navi会議と北海道大学大学院環境科学院は、北海道の環境に深く関わり未来を切り拓いてきた12人のインタビューで環境白書を作りました。今回、白書の完成を記念して北海道の2050年を考えます。

【冒頭発言】
お話し未来を考えるということ
ナチューチャーセッション

【講師とフアンクレーター】
渡辺 保史氏
(東海大学国際文化学部デザイン文化学科 客員教授)

環境中間支援会議・北海道
×北海道大学大学院環境科学院

15:30～17:30

分科会C セミナールムA
by きたネット

「北海道のエネルギー円卓会議(テス版)」

3.11以降、きたネット会員有志が「北海道エネルギーチェンジ100プロジェクト」をスタート。2012年7月に「北海道の電気 再生可能エネルギー100%へのロードマップ」を発表しました。自然エネルギー100%プロジェクトは実現できるのか。意見交換を行います。

【座長】
秋山 孝二(きたネット理事長)

事例発表「北海道の電気 再生可能エネルギー100%へのロードマップ」
岩井 尚人氏(北海道エネルギーチェンジ100プロジェクトロードマップリーダー)

【出席者】
萩原 喜之氏(中部エネルギー市民会議 呼びかけ人)

竹内 聖氏(北海道再生可能エネルギー振興機構 事務局)

清水 文雄氏(札幌市環境局環境推進課エネルギー推進 管理課長)

有坂 美紀氏(環境省北海道環境パートナーシップオフィス)

産官学民さまざまな立場のみなさん

※「北海道の電気 再生可能エネルギー100%へのロードマップ」は下記のホームページからダウンロードしてご覧いただけます。できましたら当日で持参ください。
http://www.enechan100.com/



会場/札幌市産業振興センター
セミナールムA・セミナールムB
〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1
TEL.011-820-3033
できるだけ公共交通をご利用ください。

参加費 無料!!!
ラジアース・
グリーンアップ
in 北海道 交流会
by きたネット

「ごみ拾い」でつながる
ラジアースのネットワーク！

私たちの北海道を私たちの手で世界一きれいな場所にしよう！をスローガンに、毎年約50,000人が参加する「ラジアース・グリーンアップin北海道」の交流会。今回は、ラジアースの活動とコラボレーションした企業の活動2例をご紹介します。

活動発表1
「北海道日本ハムファイターズの取組み」
(株)北海道日本ハムファイターズ
三好 健二氏

活動発表2
「ほっかいもっかい杯 スポーツGOM拾い」
北海道紙管(株)
小西 和孝氏

ラジアースパネル展
「フアターズxラジアース」少年野球チーム活動報告

《プロフィール》

若井 尚人氏 Naoto Iwai
北海道エネルギーチェンジ100プロジェクトロードマップリーダー
一般社団法人プロジェクトデザインセンター専務理事

北海道電力株式会社、ノースアップ財団、環境省北海道環境、パートナーシップオフィス勤務を経て、株式会社lepo、(一社)プロジェクトデザインセンター設立。企業の環境CSR活動、省エネ・再エネ導入支援を行う。北海道大学大学院環境科学院博士後期課程在学中。

三好 健二氏 Kenji Miyoshi
株式会社北海道日本ハムファイターズ
管理本部総務人事グループ シニアディレクター
東京都出身。高校までは野球漬け、大学では競技スキー部所属。1987年日本ハム球団株式会社入社。2004年球団移転により、北海道に移住。2007年管理本部総務人事グループシニアディレクターに就任。

小西 和孝氏 Kazuhiro Konishi
北海道紙管株式会社 取締役常務執行役員
企画開発部 部長

1974年富山県生まれ。東京大学文学部行動文化学科卒業。同年4月読売新聞社(現 読売新聞東京本社)入社。2006年北海道紙管株式会社入社。2008年にプロジェクトチームの一員としてプロジェクトに着手。2009年夏に企業ブランド「HOKKAI MOKKA」を立ち上げる。

参加申込書 FAX. 011-531-0483

FAXまたは郵送で「きたネット事務局」へお申込みください。(11/5 締切)

お名前(フリガナ)	男・女
ご住所 〒	
所属団体・企業・職業	
Tel	
Fax	
E-mail	
参加プログラム	参加・不参加
午後①	参加・不参加
午後②	参加・不参加
懇親会	参加・不参加